

平成27年11月25日

広島大学たおやかで平和な共生社会創生プログラム 第3回国際シンポジウム
「持続可能な開発目標と平和：カンボジア、ラオスにおける
戦争の負の遺産除去を目指して」の開催について

広島大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「たおやかで平和な共生社会創生プログラム（通称：たおやかプログラム）」では、第3回国際シンポジウム「持続可能な開発目標と平和：カンボジア、ラオスにおける戦争の負の遺産除去を目指して」を下記のとおり開催します。本プログラムは、世界の条件不利地域の多文化共生課題を解決する人材の育成を目指し、国内外の教育研究機関や企業、国際協力機関等との連携・協力のもとで実施する、学位プログラムです。

本シンポジウムでは、戦争の負の遺産である地雷・不発弾除去や、紛争後の社会復興に向け世界的な取り組みを主導するジェームズ・マディソン大学国際的安定化センターディレクター ケネス・ラザフォード教授を招き、これまでの活動や今後の課題について講演いただきます。

また、ラオス及びカンボジアでの取り組みや南南協力（途上国の国・地域同士が政治、経済、社会、文化、環境、技術などの分野において、幅広い枠組みのなかで協力すること）、日本による支援、アフガニスタンの事例について、関係機関よりご報告いただきます。

たおやかプログラムの底流をなす「平和を希求する精神」のもと、今なお多くの人々の生活を脅かしている問題について考える機会を提供するとともに、地雷除去活動を促進してきた日本の技術力についても焦点を当て、たおやかプログラムが目指す適切な先端科学技術を困難な課題を抱える地域に適用・実装する共生社会を創生する将来のリーダー育成についても意見交換を行います。

記

- 日 時：平成27年12月19日（土）13:00～18:30（12:30開場）
場 所：ホテル広島ガーデンパレス（広島県広島市東区光町1-15-21）
対 象：学生、教職員及び一般の方
定 員：100人（参加申込期限：12月11日（金））
言 語：日本語・英語（同時通訳）
内 容：
13:00～13:05 開会挨拶
13:05～13:10 来賓挨拶
13:10～14:10 基調講演「地雷・不発弾被害者救済についての成果と課題」
（ケネス・ラザフォード教授（ジェームズ・マディソン大学国際的安定化センター・ディレクター））
14:10～14:25 休憩
14:25～16:45 関連機関からの報告
14:25～15:05 ラオスからの報告（ラオス不発弾プログラム）
15:05～15:45 カンボジアからの報告（カンボジア地雷対策センター）
15:45～16:25 日本による支援（独立行政法人国際協力機構ラオス事務所）
16:25～16:45 アフガニスタンからの報告（広島大学大学院国際協力研究科）
16:45～17:00 休憩
17:00～18:25 パネルディスカッション
18:25～18:30 閉会挨拶

【お問い合わせ先】

たおやかプログラム事務局
TEL&FAX: 082-424-6954
E-mail: taoyaka-program@office.hiroshima-u.ac.jp

地雷だけ じやない。 埋もれて いるのは、 未来です。

平成 25 年度採択 文部科学省「博士課程教育リーディングプログラム」

広島大学たおやかで平和な共生社会創生プログラム 第3回国際シンポジウム
The 3rd TAOYAKA Program International Symposium, Hiroshima University

持続可能な開発目標と平和

カンボジア、ラオスにおける戦争の負の遺産除去を目指して
Sustainable Development Goals and Peace Clearance of long-term damages of the past war and conflict in Cambodia and Lao PDR

2015 **12/19** Sat

13:00 - 18:30 [受付 12:30 -]
Time & Date: 13:00 - 18:30, Saturday, 19 December 2015
Venue: Hiroshima Garden Palace

ホテル広島 ガーデンパレス

〒732-0052 広島市東区光町 1-15-21 1-15-21 Hikarimachi, Higashi-ku, Hiroshima City, 732-0052
【アクセス ACCESS】広島駅から徒歩 5 分 5 minute walk from JR Hiroshima Sta.

使用言語: 日本語・英語(同時通訳あり)
Simultaneous interpretation provided (Japanese / English)

E-mailにて氏名・所属先を明記の上、お申込みください。

【締切】12月11日(金)
【定員】100名(入場無料)

Registration: Contact us for registration with your name, affiliation and contact information by 11 December, 2015
Seating capacity: 100 persons (for free)

申込先

Email: taoyaka@hiroshima-u.ac.jp

広島大学 たおやかプログラム事務局

Tel: 082-424-6954 <http://taoyaka.hiroshima-u.ac.jp/>

基調講演 Keynote lecture

「地雷・不発弾被害者救済についての成果と課題」
"Achievements and challenges for relief measures for victims of landmines and unexploded ordnance in the world"

ケネス・ラザフォード氏 (ジェームズ・マディソン大学 教授)
Kenneth R. Rutherford
(Professor, Center for International Stabilization and Recovery, James Madison University)



1987年、ケネス・ラザフォードは、ボスニアの地雷被害者救済に貢献した。 (1987, Ken Rutherford worked in Bosnia for the relief of landmine victims. (Credit: Ken Rutherford))

報告 Report

1. ラオスからの報告 [ラオス不発弾プログラム (UXO Lao)]
Reports from Laos (Lao National Unexploded Ordnance Program [UXO Lao])
2. カンボジアからの報告 [カンボジア地雷対策センター (CMAC)]
Reports from Cambodia (Cambodian Mine Action Center [CMAC])
3. 日本による支援 [(独)国際協力機構 ラオス事務所、(特非)日本地雷処理を支援する会]
Support from Japan (JICA Laos Office, Japan Mine Action Service)
4. アフガニスタンからの報告 [広島大学大学院国際協力研究科]
Inputs and updates from Afghanistan
(Graduate School of International Development and Cooperation, Hiroshima University)

パネルディスカッション Panel Discussion

持続可能な開発目標と平和
カンボジア、ラオスにおける戦争の負の遺産除去を目指して
Sustainable Development Goals and Peace
Clearance of long-term damages of the past war and conflict in Cambodia and Lao PDR

ホテル広島ガーデンパレス



参加申込み